

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括表

事業名	民話などの文化遺産を後世に伝える事業
事業主体 (連絡先)	岡田地区まちおこし協議会 松本市岡田岡田町517-1
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	871,600.円 (うち支援金 600,000.円)

事業内容

地域に伝わる民話や石造文化財などの忘れられている素朴な文化財を後世に伝える事業を実施した。

- ・民話フェスティバルの開催 12月17日
- ・民話講演会の開催 9月～10月
- ・民話紙芝居の制作 7月～1月
- ・観音霊場を巡るウォーキング 9月23日
- ・全日本花いっぱい松本大会参加 6月17日
- ・きつねのお話会へ参加 10月 9日



【民話フェスティバルの一場面】

【目標・ねらい】

事業効果

- ① 民話フェスティバルには私たちを含め8団体が参加鑑賞者は110名、参加団体の関係者は120名。
- ② 民話フェスティバルの開催は報道機関がともに大きく扱った。特に地元のテレビ松本が全体を2時間30分の番組に編集して数回にわたって放送した。
- ③ 私たちの紙芝居の制作・上演によって民話を伝承する活動が、評価され、6月に開催された全日本花いっぱい松本大会の交流レセプションに松本城の民話を上演した。市民芸術館で開催した、松本市民オペラ合唱団定期公演のプレイベントに狐の民話を上演した。

- ①民話フェスティバルの出演団体と鑑賞者の拡大
- ②民話を伝承する活動をしている他の団体との交流
- ③紙芝居による民話の伝承

※ 自己評価 【A】

【理由】

- ・紙芝居の制作・上演による民話を後世に伝える活動が評価された。
- ・今年度の民話フェスティバルへ出演した団体は来年度の出演を表明している。

今後の取り組み

民話フェスティバルのスポンサーの確保、紙芝居など観賞の対象が小さいので会場の選定。

民話フェスティバル開催を継続して行くためには多額の費用を必要とするためにスポンサーの確保、主催団体組織の強化、PR方法の検討などの課題を克服することが多くの民話愛好者の期待に答えることと思う。

民話紙芝居の制作は地域にこだわらず松本城の民話を手始めにこの地方に伝わる民話を対象に制作して行く。また、紙芝居の貸し出しに力を入れたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある